

令和7年2月12日

四国中央市議会議長 山川 和孝 様

四国中央市長 篠原 実



「観光振興の取組への提言」に対する反映状況の報告

四国中央市議会より提言のあった件について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 観光施設がより市民と観光客に愛される施設となるよう充実を図ることを目的に、可能な限り積極的に、多種多様な意見を反映し、以下の改善策を講じること

- (1) 具定展望台改修に係る実施設計において、市民の意見とアイデアを広く聴取し、設計計画に反映すること

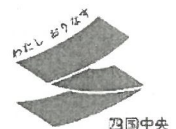
具定展望台実施設計業務につきましては、十分かつ効果的な協議検討が必要なことから、令和6年度と7年度の2カ年度にわたり業務を進めていく予定にしております。この実施設計業務において、幅広い層の市民の意見とアイデアを聴取するプロセスを経て作業を進めていく予定で、同施設が将来にわたり市民及び観光客に愛されるものになるように進めてまいります。

- (2) 霧の森、霧の高原を利用された方の意見を施設の管理、運営に反映できるよう、指定管理者に対し適切に指導を行うこと

指定管理者が各施設利用者とイベント参加者にアンケート調査を実施し、その結果を市も共有し、施設の充実と課題克服に反映しております。今後につきましても、アンケート調査による分析と重要なトレンドや課題を迅速に把握し、それらに基づいて具体的な改善策を提案し合えるよう、指定管理者と連携を強化してまいります。

- 2 さらに観光客誘致を図ることを目的に、以下の具体策を早急に講じること

- (1) 「四国のまんなか」、「海と山が近い」など、本市の地の利をいかした観光客誘致施策を策定すること



四国の中央部に位置する本市の強みを活かして、団体の広域旅行の宿泊地、及び学生の手宿の拠点宿泊地として交流人口増を図る目的で、令和7年1月に四国中央市団体旅行等宿泊事業費補助制度を制定しました。本制度を通じまして、多くの方に本市の魅力をもPRして参りたいと考えております。

- (2) 市内観光と宿泊を促進することだけに限定せず、広域的な観光ルートを提案するなどの仕掛けづくりに取り組むこと

ご提案がありましたとおり、観光客の多様なニーズに対応できる仕掛けづくりが肝要でありますので、近隣地域の魅力をパッケージした観光ルートの情報発信ができるよう、トレンドを注視しながら、関係団体等と情報交換を図ってまいります。

- (3) 観光客に市内の自然やイベント情報等を積極的にソーシャルネットワークサービス(SNS)等で発信してもらえよう観光PRに努め、市民参加型事業の充実に取り組むこと

令和6年10月より、四国中央市観光協会のInstagramを立ち上げ、従来からのホームページと合わせて、効果的な情報発信に努めております。今後も、様々な情報発信ツールを活用し、市民及び観光客の関心を得られるよう努力してまいります。